

# お正月にチョット出かけてみました!!

平成19年のお正月を迎え、皆さんすがすがしい気分で、今年こそは!!と意気込んでいらっしゃる方も多いことと思います。しかし、毎年、お屠蘇を飲みながらゴロゴロしている私に、「お正月」の記事を書けとは、いささか酷ではありませんか?いえいえ、「今年こそは!!」と意気込んで、チョットだけお正月に出かけてみました。

まず最初は、身近なところで氏神様に……1日の0時過ぎてから詣る風習が私の田舎ではありますが、いささか早すぎます。チョットそまでは……というわけでこれは後回しにして。(最初から意気込みが感じられません)

それならば、少し早起きをして、初日の出を見に行こ〜。どうせなら大山も一緒に写せないかな〜。ということで、まず、初日の出を拝みに大山まで出かけました。

この日、朝方は薄曇りで絶好とまではいかないまでも、なんとか初日の出を拝めそうな天気でした。しかし、米子の方は日が当たっているのに、大山は標高が高く日の出が遅い!!大山の近くで初日の出を拝むのは不向きかもしれません。待つこと1時間、なんとか初日の出を拝むことが出来ました。



大山放牧場からの初日の出  
米子の日の出は7時16分、ここは8時20分 随分待ちました。  
初日の出を拝むには不向きかも



当然下界の方が、早く日の出を見ることができ、米子のほうは、既に日が当たっていました。  
元旦は、空気が澄んでいて、隠岐島まで一望できました。

我が集落の氏神様にもお参りをしましたので少しだけ紹介。年末からの雪で、ザックザックと雪を踏みしめながら。小さい集落なので、足跡もまばら。



大瀧神社

この日最後にお参りしたのは、「日本で一番縁起の良い名前の神社」、日野郡日野町金持にある金持神社です。

御祭神は、<sup>あまの とこたりのみこと</sup>天之常立尊、<sup>やつかみすあみ すめのみこと</sup>八束水臣津努命、<sup>あみ すめのみこと</sup>淤美豆奴命で、売店横の看板には、国土経営、開運、国造りの神様をお祀りしているとのこと、なんと事務局(国土交通省日野川河川事務所)の職場と密接な関係にあるのではありませんか。

また、境内にある金持神社由緒の看板には、“この「金持」という縁起の良い名前から、昭和後期から注目され始めた。「当社に祈願してから宝くじを買ったら大当たりした」とか、その真偽は別として、噂が噂を呼んで今様流行神となりつつある。”とあり、本殿の下に奉納してある絵馬にも、宝くじ、パチンコ、競馬……の願いがかかれたものも多くありました。また、「<sup>はせ べのぶつら</sup>長谷部信連公の再起」といった開運伝説も伝わります。



10時頃には、境内には20~30名くらいの参拝者がおられました。



境内では、獅子舞が行われていました。

元旦の9時30分頃には、獅子舞が行われており、これぞ日本のお正月といった感じ。「今年一年家族が健康でありますように」「お金持ちになれますように」「仕事が順調にいきますように」……などと百五十円のお賽銭の割りに多くのお願いをしました。ちなみに、国土経営・国造り関係の願いは、後で知ったので残念ながら〜(言い訳です)、また百五十円ではこの願いはチョット恥ずかしいかな?

最後に、宝くじ当たらないかなー、パチンコで勝てないかなー、給料上がらんかなーとの期待をかけて「金持神社金運守護」のお守りを購入し、神社を後にしました。

今回は紹介しませんが、神社から川を渡った先には、売店があり、お酒、せんべいといったおみやげや、幸せを運ぶ黄色いハンカチ、財布(これも黄色だった)、お守り、絵馬等々縁起の良いグッズが売られていますし、金持神社境内には、鳥取県銘木100選のサワラ、チャンチンの木があります。

今年の初詣は、この記事が出る時には時季がはずれていますので、来年の初詣、また、機会があれば金持神社にお参りしてみたいかがでしょうか。

以上、初日の出、氏神様、金持神社とお正月にチョットでかけてみました。今年一年皆さま幸せでありますように!!



当然、御神酒を頂いての運転は出来ません!!